

## 千葉県における廃棄物処理の現状と課題

## 1 一般廃棄物

## (1) 計画目標の達成状況と課題

	H20 (基準年度)	H25 (実績)	H27 (目標年度)	目標達成 見込み
①排出量 (万 t)	231	218	220	○
②再生利用率 (%)	24.2	23.5	30	×
③最終処分量 (万 t)	17.1	16.3	13	×

①排出量は、基準年度に比べると減少しており、目標も達成できる見込みである。

②再生利用率は、近年横ばいで推移しており、目標の達成は困難な状況である。

## 【課題】

可燃ごみの中には、紙・布類、ちゅう芥類やプラスチック製容器包装など、資源化可能なものが多く含まれていることから、県民や事業者による分別排出の徹底に向けた取組が必要である。

③最終処分量は近年横ばいで推移しており、目標の達成は困難な状況である。

## 【課題】

エコセメント化施設の稼働停止により、埋立処分される焼却残さが増加傾向にある。

また、近年、県外への埋立処分量が増加傾向にあるため、最終処分場を持たない市町村における、さらなる減量化・資源化の取組の促進が必要である。

最終処分場の残余年数が限られていることから、引き続き排出量の削減、再生利用率の向上及び最終処分量の削減に向けた取組の促進が必要である。

## (2) その他の課題

○膨大な量の災害廃棄物が発生した東日本大震災を教訓に、廃棄物の発生量を的確に予測した上で、適正かつ迅速な処理のため、別途計画的に対応することが必要である。

○指定廃棄物は国が責任をもって処理することとされているが、それ以外の放射性物質に汚染された廃棄物について、処理が困難なケースが見受けられ、処分先の安定的な確保が必要である。

○ごみ処理施設・し尿処理施設の老朽化が進んでおり、施設の長寿命化や更新の検討が必要である。

## 2 産業廃棄物

### 計画目標の達成状況と課題

	H20 (基準年度)	H25 (実績)	H27 (目標年度)	目標達成 見込み
①排出量(万t)	2,488	2,117	2,400	○
②再生利用率(%)	58.0	55.9	61	×
③最終処分量(万t)	68.5	31.3	61	○

①排出量は、基準年度に比べると減少しており、目標は達成できる見込みである。

**【課題】**

景気の動向により増加に転じる可能性がある。

②再生利用率は、近年横ばいで推移しており、目標の達成は困難な状況である。

**【課題】**

建設系の廃棄物や汚泥の再資源化、減量化の更なる推進が必要である。

③最終処分量は、基準年度に比べると減少しており、目標は達成できる見込みである。

**【課題】**

廃棄物処理施設の新規立地は依然として困難な状況にある中、現在の最終処分場の残余年数が限られていることも踏まえ、最終処分に依存しない処理体制への移行が必要である。

## 3 不適正処理

新たな不法投棄量は減少傾向にあるものの、小規模・投げ捨て型の不法投棄が依然として発生している状況である。

## 千葉県における廃棄物処理の現状【詳細】

### 1 目標値の達成状況

#### 一般廃棄物

		H20	H24	H25	H27	達成 見込み
		基準年度	実績	実績	目標年度	
総排出量(万t)		231	219	218	220	○
1人1日当たりのごみ排出量(g)		1,037	976	972	960	○
再生 利用	量(万t)	56.1	51.0	51.4	66	×
	率(%)	24.2	23.4	23.5	30	×
最終処分量(万t)		17.1	16.0	16.3	13	×

#### 産業廃棄物

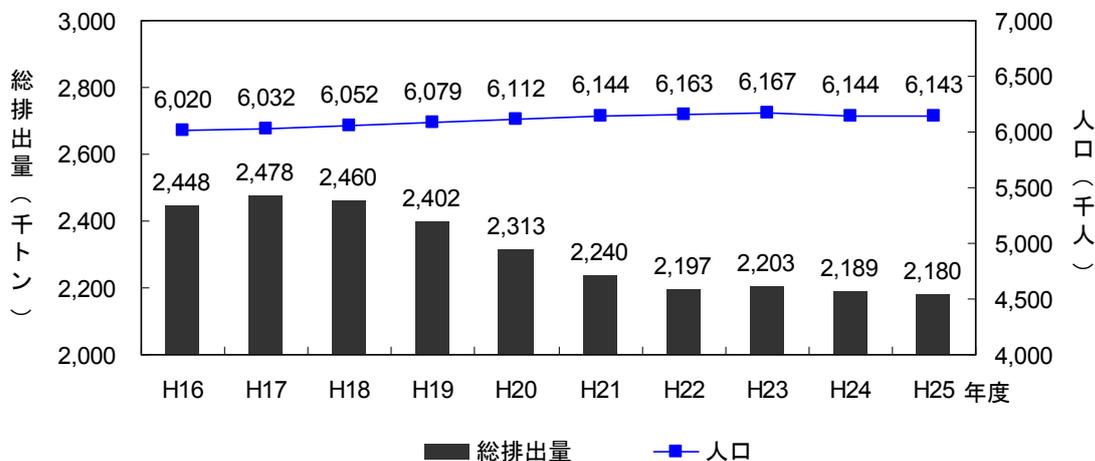
		H20	H24	H25	H27	達成 見込み
		基準年度	実績	実績	目標年度	
総排出量(万t)		2,488	2,238	2,117	2,400	○
再生 利用	量(万t)	1,445	1,341	1,185	1,464	×
	率(%)	58.0	59.9	55.9	61	×
最終処分量(万t)		68.5	45.9	31.3	61	○

## 2 廃棄物処理の現状

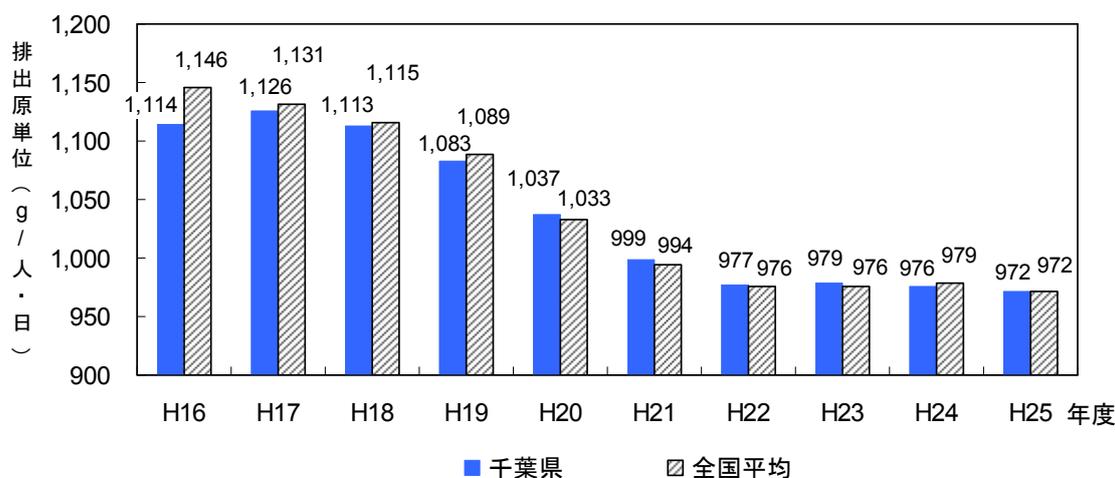
### 【一般廃棄物】

#### (1) ごみ排出量

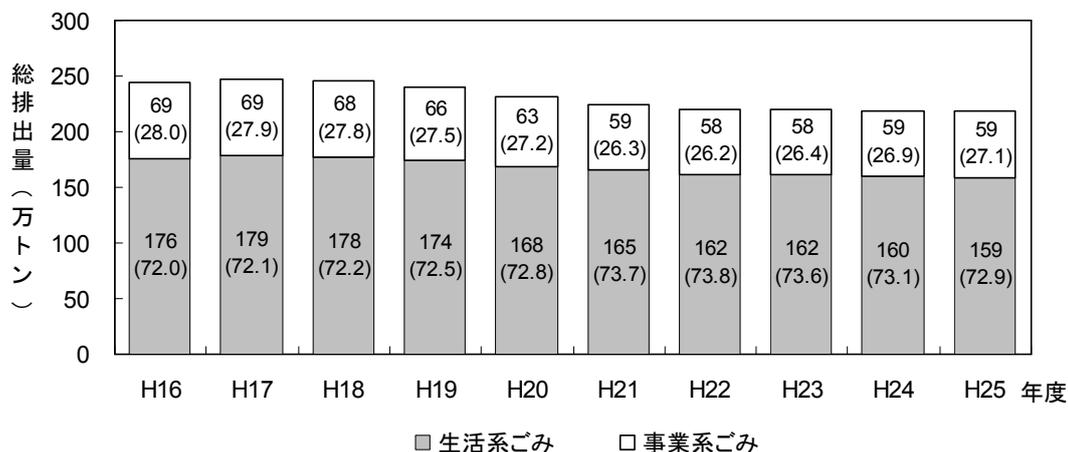
##### ① ごみ排出量等の推移



##### ② 1人1日当たりのごみ排出量(排出原単位)の推移

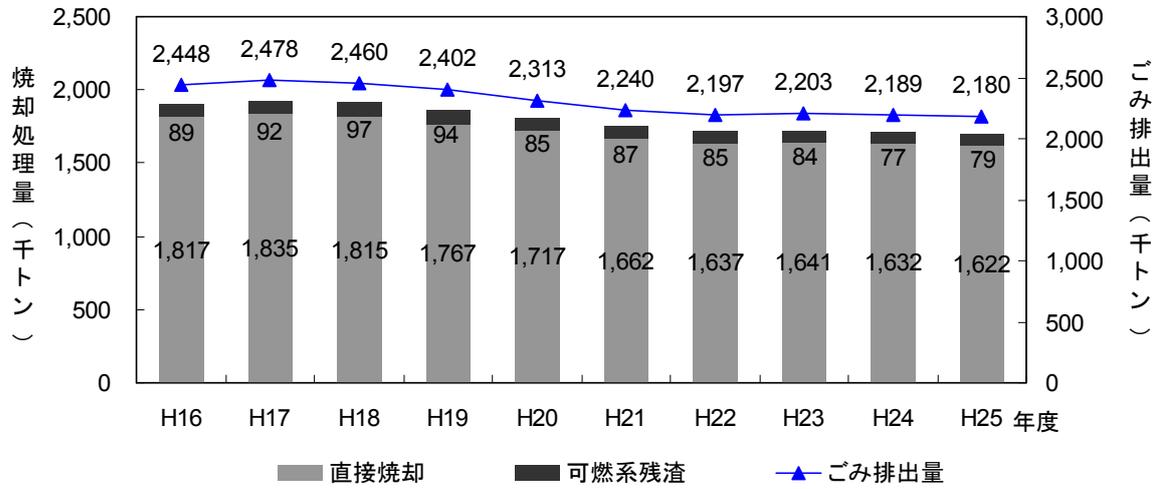


##### ③ 生活系ごみと事業系ごみの割合の推移

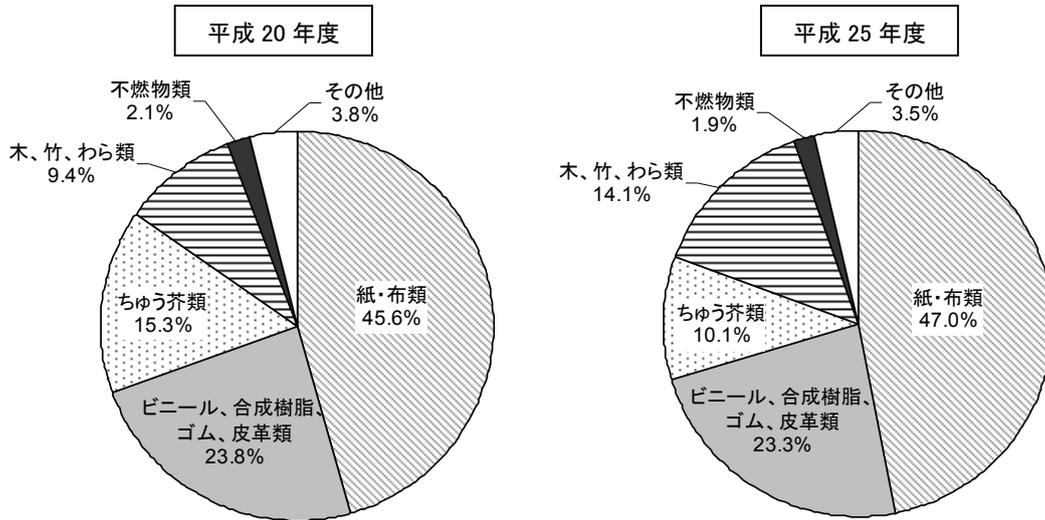


## (2) ごみの資源化等

### ① 焼却処理量の推移



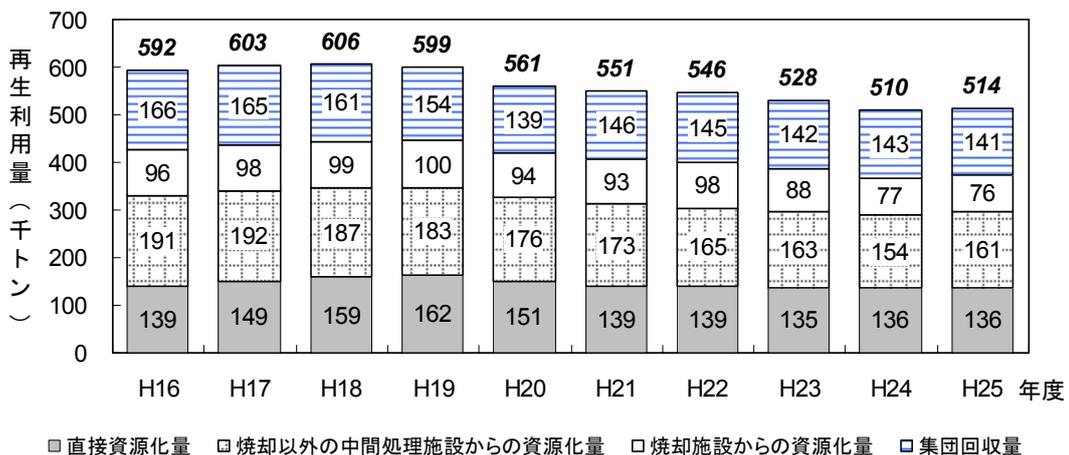
### ② 焼却ごみの組成



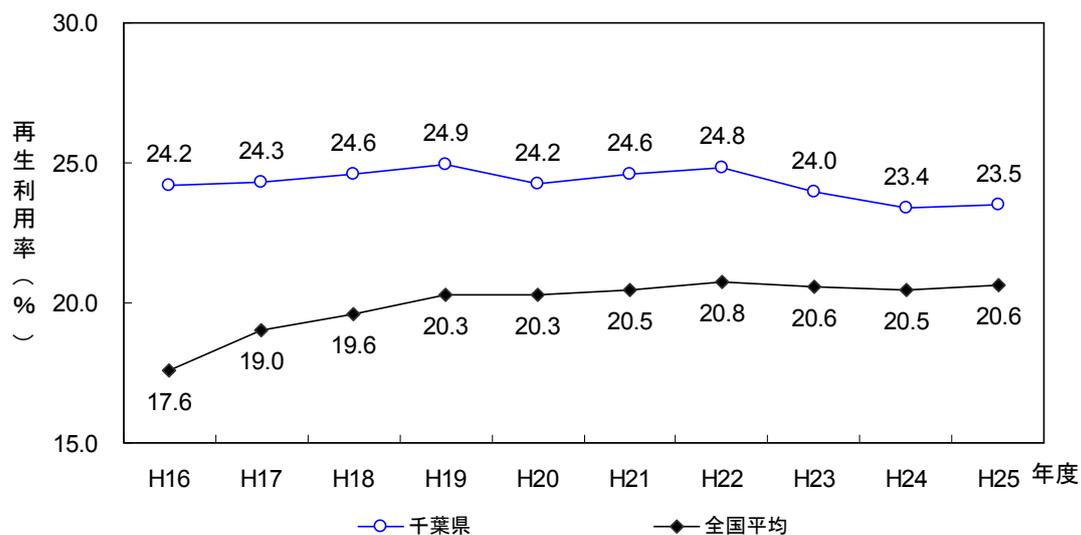
※千葉県内市町村及び一部事務組合の焼却施設のうち、ごみ組成分析を行った施設（平成 20 年度 45 施設、平成 25 年度 44 施設）のデータの平均値。

※ごみを乾燥させた後に軽量する方法（乾燥ベース）による数値。

### ③ 再生利用量の推移



④ 再生利用率の推移



⑤ 容器包装リサイクル法に基づく分別収集実績(平成 25 年度)

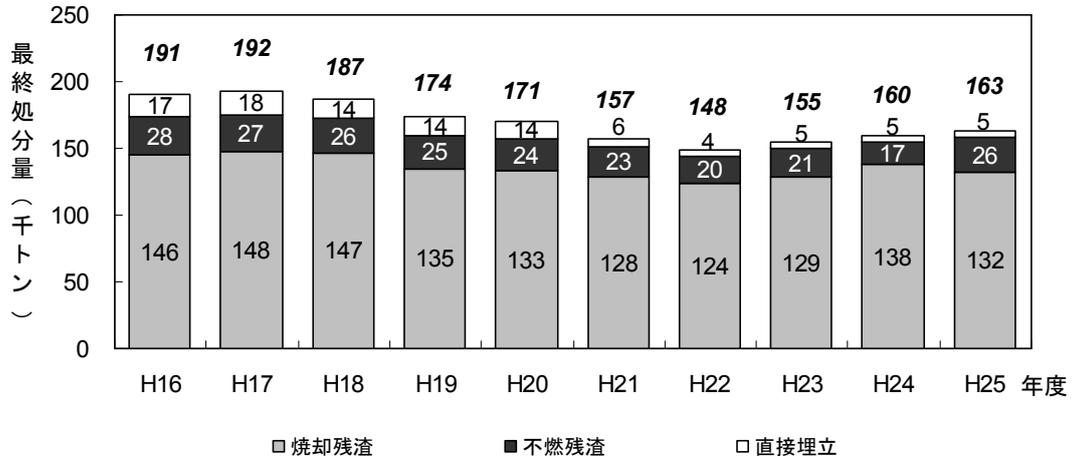
品目		収集量 (t)	再商品化量 (t)	再商品化率 (%)
		(A)	(B)	(B/A)
ガラスびん	無色	16,972	16,965	100.0
	茶色	12,250	12,242	99.9
	その他	11,016	10,954	99.4
ペットボトル		16,548	16,353	98.8
紙製容器包装		732	556	76.0
プラスチック製容器包装 (白色トレイ含む)		29,401	28,383	96.5
缶	鋼製	11,237	11,237	100.0
	アルミニウム製	9,375	9,374	100.0
飲料用紙製容器		551	551	100.0
ダンボール		43,729	43,729	100.0
全品目		151,811	150,344	99.0

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合があります。

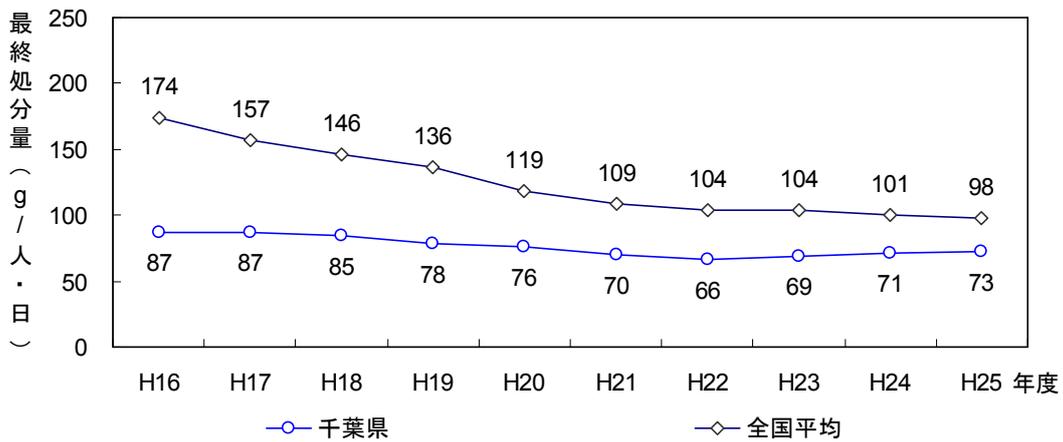
※「収集量」は当該年度の収集量に前年度の持ち越し分を加え、そこから当該年度の保管残量を引いた実収集量です。

(3) 最終処分量

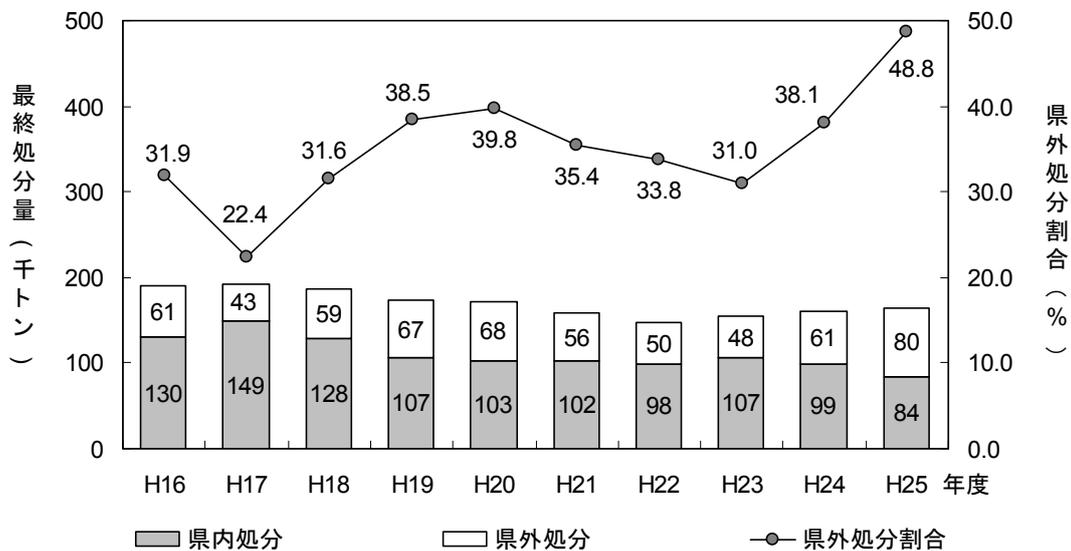
① 最終処分量の推移



② 1人1日当たりの最終処分量の推移(全国比較)



③ 県内外での処分状況の推移



(4) 市町村におけるごみ処理費等の状況

① ごみ処理費用の推移

	H21	H22	H23	H24	H25
処理・維持管理費 (千円)	5,051,479	4,071,914	7,136,628	11,588,755	6,169,448
建設改良費 (千円)	70,675,095	115,526,849	71,131,510	71,301,840	71,217,785
その他 (千円)	3,317,605	9,933,005	3,509,014	2,958,641	4,312,309
計 (千円)	79,044,179	129,531,768	81,777,152	85,849,236	81,699,542
人口 (人)	6,144,484	6,162,736	6,167,215	6,143,868	6,143,469
1人当たりの経費 (円/人)	12,864	21,019	13,260	13,973	13,299
市町村処理量 (t)	2,093,700	2,052,800	2,060,228	2,047,303	2,038,966
1t当たりの経費 (円/t)	37,753	63,100	39,693	41,933	40,069

② 平成 25 年度ごみ処理有料化の状況 (生活系可燃収集ごみ)

収集回数	制 度	市町村	原単位 (g/人・日)
週2回	無料 (3)	千葉市、流山市、我孫子市	469.7
	無料/指定袋制 (5)	成田市、柏市、印西市、白井市、酒々井町	441.3
	有料 (23)	銚子市、館山市、木更津市、野田市、東金市、旭市、勝浦市、鴨川市、君津市、富津市、南房総市、匝瑳市、香取市、山武市、栄町、神崎町、多古町、東庄町、九十九里町、芝山町、横芝光町、御宿町、鋸南町	464.7
週3回	無料/指定袋制 (11)	市川市、船橋市、松戸市、佐倉市、習志野市、市原市、鎌ヶ谷市、浦安市、四街道市、八街市、富里市	480.0
	有料 (12)	茂原市、八千代市、袖ヶ浦市、いすみ市、大網白里市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町	502.4

※( )内の数字は、市町村数

(5) ごみの不法投棄等

① 廃家電(家電リサイクル法に定める4品目)の不法投棄の推移

(台)

	H21	H22	H23	H24	H25
エアコン	119	111	51	82	51
テレビ	5,123	6,849	9,440	6,457	3,813
冷蔵庫・冷凍庫	1,808	1,531	1,221	1,241	1,045
洗濯機	1,135	954	682	581	479
計	8,185	9,445	11,394	8,361	5,388

(6) 一般廃棄物処理施設等の整備状況

① ごみ処理施設の整備状況

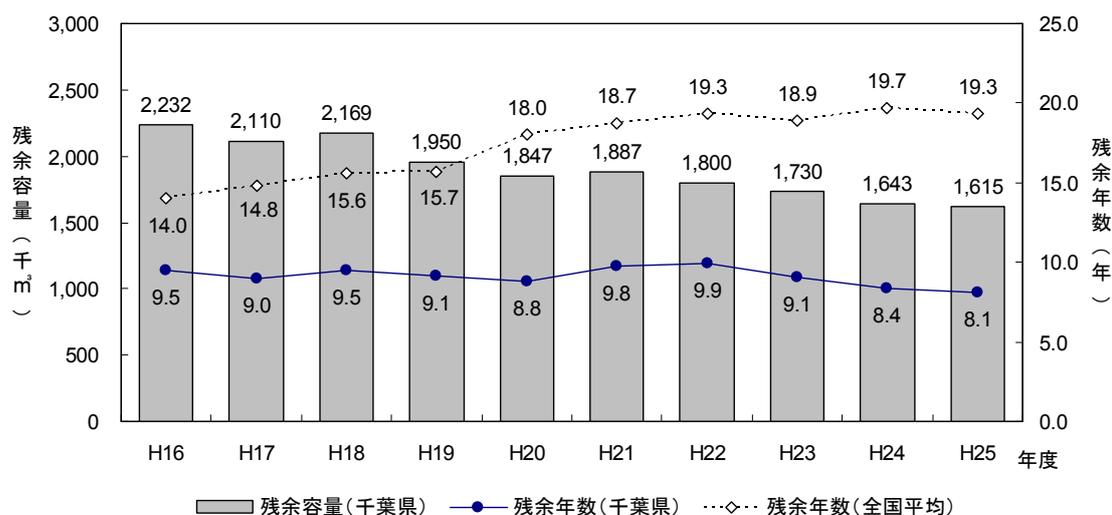
区分		年度				
		H21	H22	H23	H24	H25
ごみ焼却施設	施設数	47	45	45	44	44
	処理能力 (t/日)	8,454	8,418	8,418	8,436	8,436
粗大ごみ処理 施設	施設数	24	24	24	24	24
	処理能力 (t/日)	1,187	1,188	1,141	1,137	1,136
資源化等を行 う施設	施設数	22	22	24	26	26
	処理能力 (t/日)	804	802	818	828	828
最終処分場	施設数	27	27	25	25	25
	残余容量 (千 $m^3$ )	1,887	1,800	1,730	1,643	1,615

② ごみ処理施設の稼働年数の状況

区分		年度				
		H21	H22	H23	H24	H25
ごみ焼却施設 (A)	総施設数	47	45	45	44	44
	15年経過施設数	30	30	34	32	34
粗大ごみ処理施設 (B)	総施設数	24	24	24	24	24
	15年経過施設数	15	17	21	21	22
資源化等を行 う施設 (C)	総施設数	22	22	24	26	26
	15年経過施設数	10	13	16	18	19
ごみ処理施設合計 (A+B+C)	総施設数	93	91	93	94	94
	15年経過施設数	55	60	71	71	75
	割合(%)	59.1	65.9	76.3	75.5	79.8

※割合は、総施設数に占める稼働後15年が経過した施設の割合。

### ③ 最終処分場の残余容量・残余年数の推移



※残余年数とは、新規の最終処分場が整備されず、当該年度の最終処分量の全量が全国または県内の最終処分場（民間を除く）で最終処分が行われた場合に、最終処分が可能な期間（年数）をいい、以下の式により算出されます。

$$\text{残余年数} = \frac{\text{当該年度の残余容量}}{\text{当該年度の残余最終処分量} \div \text{埋立ごみ比重}}$$

（埋立ごみ比重=0.8163（環境省が残余年数算定の際に使用する数値））

### (7) 災害廃棄物等の計画

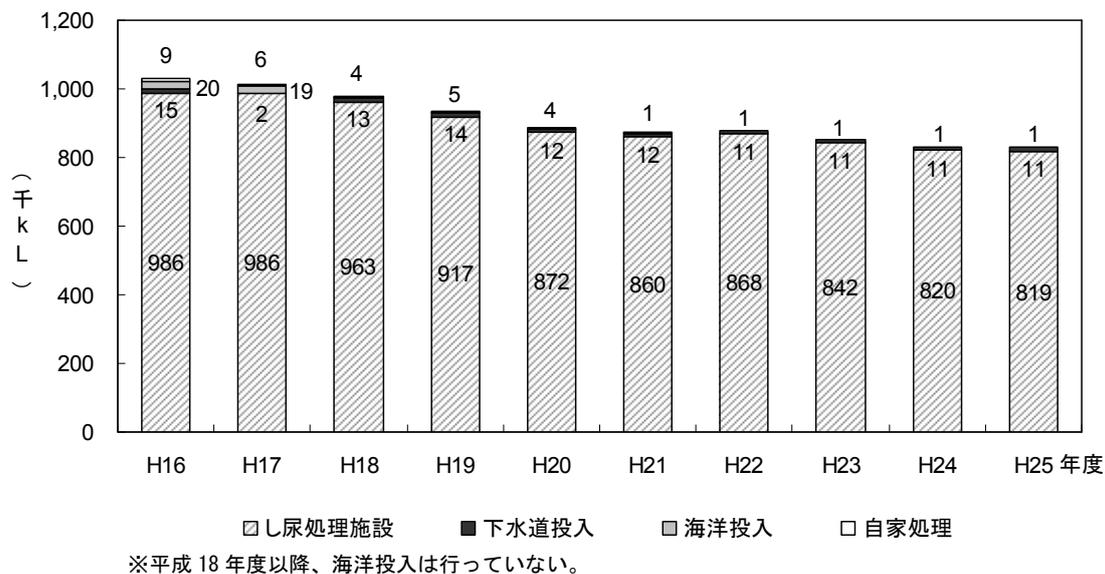
#### ① 災害廃棄物処理計画の策定状況

回 答	市町村数
単独計画を策定している	14
地域防災計画の一部に含まれている	23
策定していない	17
54市町村のうち、東日本大震災を受けて単独計画を策定・改訂する予定のある市町村	26

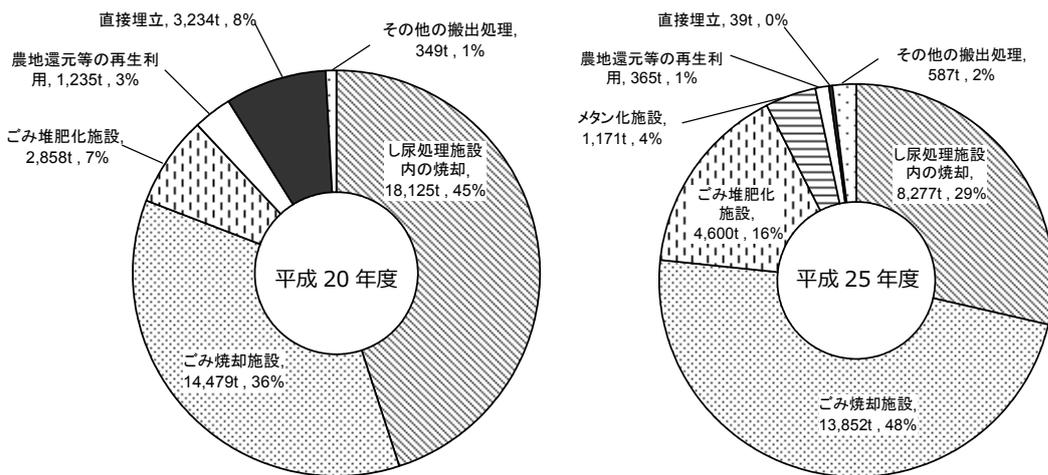
※「災害廃棄物処理計画」に対する市町村の対応状況のアンケート結果  
（平成 27 年 3 月末現在）

## (8) し尿処理

### ① し尿処理状況の推移



### ② し尿処理施設からの残さの処理内訳



### ③ 浄化槽設置状況

区分		年度				
		H21	H22	H23	H24	H25
総基数		613,628	617,185	620,760	623,357	572,202
内訳	単独処理浄化槽	416,462	412,756	409,035	405,009	348,907
	合併処理浄化槽	197,166	204,429	211,725	218,348	223,295

### ④ し尿処理施設の稼働年数の状況

区分	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
総施設数		39	39	39	38	38	38	38	38	38	38
15年経過施設数		26	25	28	27	28	31	32	34	34	34
割合 (%)		66.7	64.1	71.8	71.1	73.7	81.6	84.2	89.5	89.5	89.5

※コミュニティプラント含む。

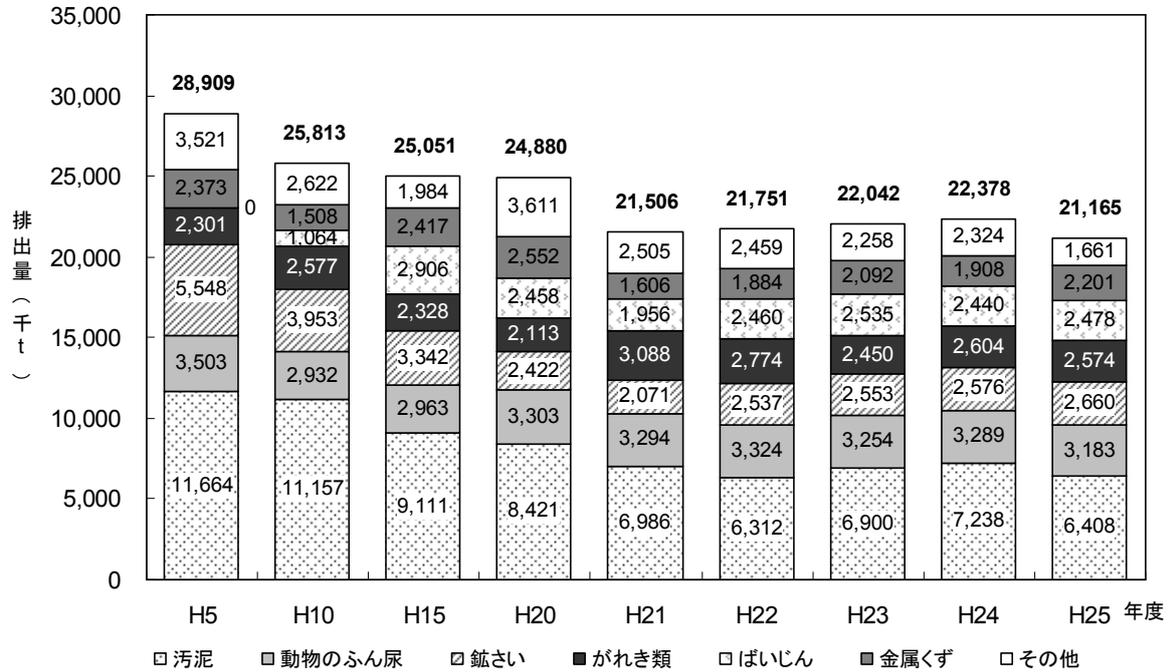
※平成 25 年度までは実績。平成 25 年度以降の新たな設置は考慮していない。

※割合は、総施設数に占める稼働後 15 年が経過した施設の割合。

## 【産業廃棄物】

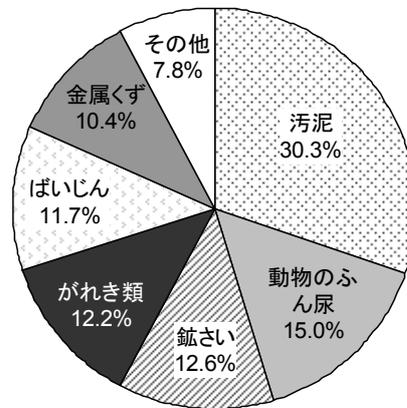
### (1) 排出量

#### ① 種類別排出量の推移



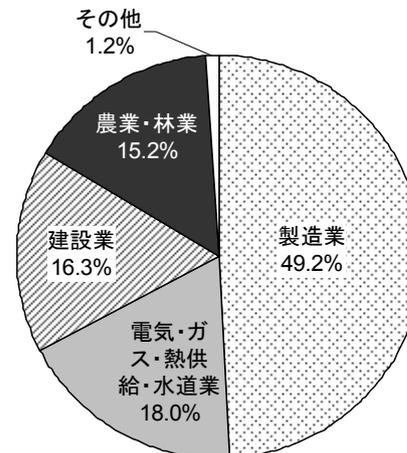
#### ② 種類別排出量

平成25年度	単位: 千t
排出量合計	21,165
汚泥	6,408
動物のふん尿	3,183
鉱さい	2,660
がれき類	2,574
ばいじん	2,478
金属くず	2,201
その他	1,661



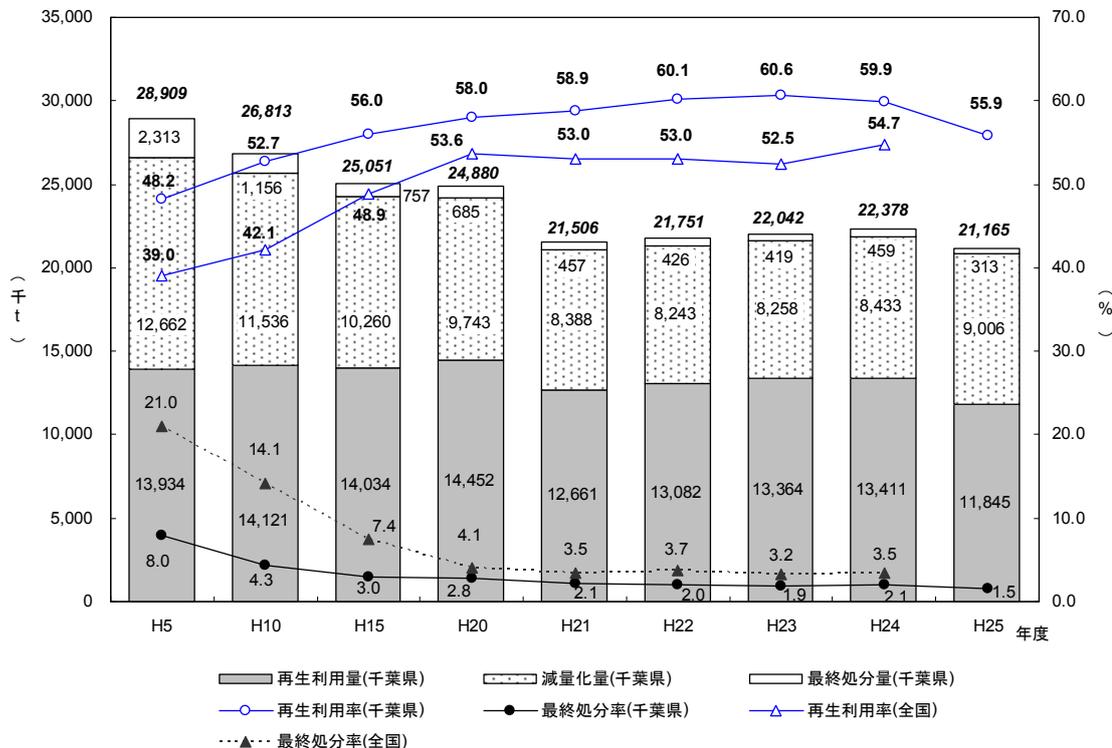
#### ③ 業種別排出量

平成25年度	単位: 千t
排出量合計	21,165
製造業	10,417
電気・ガス・熱供給・水道業	3,809
建設業	3,458
農業・林業	3,222
その他	260

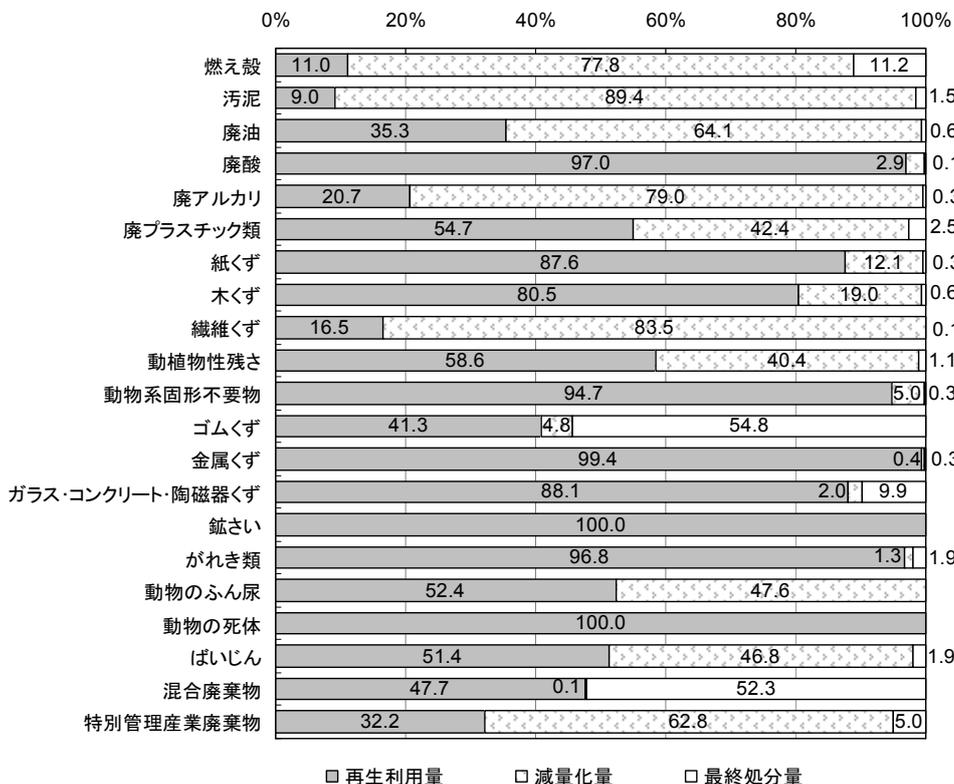


(2) 処理・処分状況

① 処理・処分状況(全国平均との比較)



② 種類別処理・処分状況(平成 25 年度)

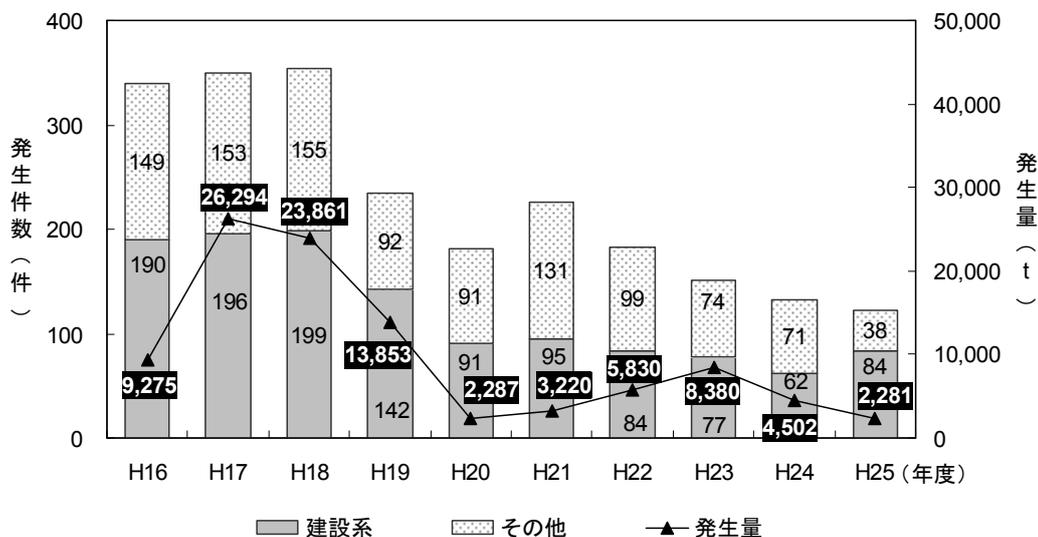


③ 種類別処理・処分状況(平成 25 年度)

廃棄物名	量(千t)				種類別 処理区分別構成比(%)			
	排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量	再生利用量	減量化量	最終処分量	
燃え殻	10	1	8	1	11.0	77.8	11.2	
汚泥	6,408	578	5,732	98	9.0	89.4	1.5	
廃油	182	64	116	1	35.3	64.1	0.6	
廃酸	181	175	5	0	97.0	2.9	0.1	
廃アルカリ	160	33	126	1	20.7	79.0	0.3	
廃プラスチック類	215	118	91	5	54.7	42.4	2.5	
紙くず	18	15	2	0	87.6	12.1	0.3	
木くず	217	174	41	1	80.5	19.0	0.6	
繊維くず	7	1	6	0	16.5	83.5	0.1	
動植物性残さ	78	46	32	1	58.6	40.4	1.1	
動物系固形不要物	3	2	0	0	-	-	-	
ゴムくず	0	0	0	0	41.3	4.8	54.8	
金属くず	2,201	2,187	8	6	99.4	0.4	0.3	
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	264	233	5	26	88.1	2.0	9.9	
鋳さい	2,660	2,659	0	1	100.0	0.0	0.0	
がれき類	2,574	2,491	34	48	96.8	1.3	1.9	
動物のふん尿	3,183	1,667	1,515	0	52.4	47.6	0.0	
動物の死体	0	0	0	0	100.0	0.0	0.0	
ばいじん	2,478	1,273	1,159	47	51.4	46.8	1.9	
その他(13号廃棄物)	-	-	-	-	-	-	-	
混合廃棄物	129	62	0	68	47.7	0.1	52.3	
特別 管理 産業 廃棄 物	廃油	21	12	9	0	56.9	41.2	1.9
	廃酸	70	10	60	0	14.0	85.8	0.2
	廃アルカリ	13	2	11	0	13.9	86.0	0.0
	感染性産業廃棄物	14	0	12	2	3.0	81.9	15.0
	廃石綿等	7	0	0	7	3.3	0.3	96.3
特定有害産業廃棄物	71	39	32	1	54.6	44.5	0.8	
合計	21,165	11,845	9,006	313	56.0	42.6	1.5	

### (3) 不適正処理の防止と適正処理の推進

#### ① 不法投棄状況の推移



※千葉市、船橋市、柏市を含む

#### ② 不法投棄等残存量の推移

年度		H21	H22	H23	H24	H25
残存件数	件	788	796	808	792	800
残存量	t	4,001,551	4,001,982	3,995,508	3,978,883	3,959,381

※10t以上の不適正処理事案を対象（千葉市、船橋市、柏市を含む）

#### ③ ポリ塩化ビフェニル廃棄物等の特別管理産業廃棄物

	保管量					使用量				
	事業場数	数量(台)	重量(kg)	容積(L)	各種容器	事業場数	数量(台)	重量(kg)	容積(L)	各種容器
高圧トランス	434	1,697	515	135	0	100	265	10,550	259	0
高圧コンデンサ	1,476	10,766	1,468	0	0	159	322	177	3,180	0
低圧トランス	42	294	505	0	—	8	104	313	0	—
低圧コンデンサ	175	43,223	1,713	0	0	6	839	—	—	—
柱上トランス	16	113,413	0	0						
安定器	757	235,196	41,364	0	25	48	9,708	0	—	1
PCB	20	—	9,001	38	2	1	—	0	0	0
PCBを含む油	180	—	848,933	93,791	43	3	—	25,000	2,500	7
感圧複写紙	10	—	5,247	0	0	—	—	—	—	—
ウエス	115	—	23,942	4,781	3	—	—	—	—	—
汚泥	24	—	323,776	0	1	—	—	—	—	—
その他の機器等	800	24,000	36,885	558	18	399	1,586	147,040	2,699	1

※1 平成25年度末現在

※2 千葉市、船橋市、柏市を含む

(4) 産業廃棄物処理施設の整備

① 許可施設の整備状況

区分	種類内容	排出事業者	処理業者	合計
中間処理施設	汚泥の処理施設	64	43	107
	廃油の処理施設	14	36	50
	廃酸又は廃アルカリの処理施設	1	3	4
	廃プラスチック類の処理施設	7	94	101
	木くず等の処理施設	34	212	246
	その他の処理施設	2	0	2
	合計	122	388	510
最終処分場	安定型	2	11	13
	管理型	5	8	13
	遮断型	1	0	1
	合計	8	19	27

※千葉市、船橋市、柏市を含む（平成 25 年度末現在）

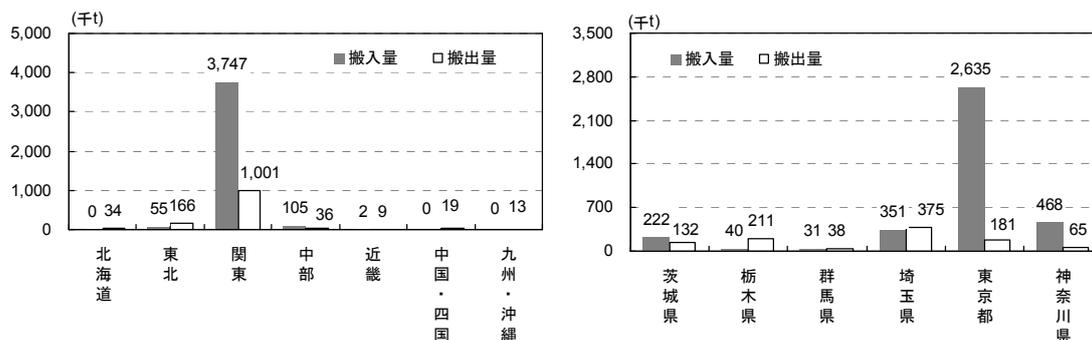
② 最終処分場の整備状況と残余容量

区分	処分場の種類	残余容量(千m <sup>3</sup> )
排出事業者	安定型	42
	管理型	119
	遮断型	1
	計	162
処理業者	安定型	3,652
	管理型	2,592
	遮断型	0
	計	6,243
合計		6,405

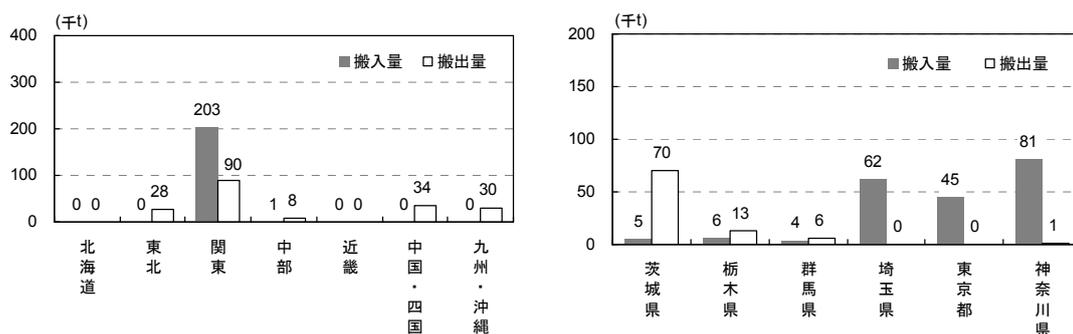
※千葉市、船橋市、柏市を含む（平成 25 年度末現在）

(5) 産業廃棄物の広域移動

① 中間処理目的での県への搬入量、県からの搬出量(平成 25 年度)

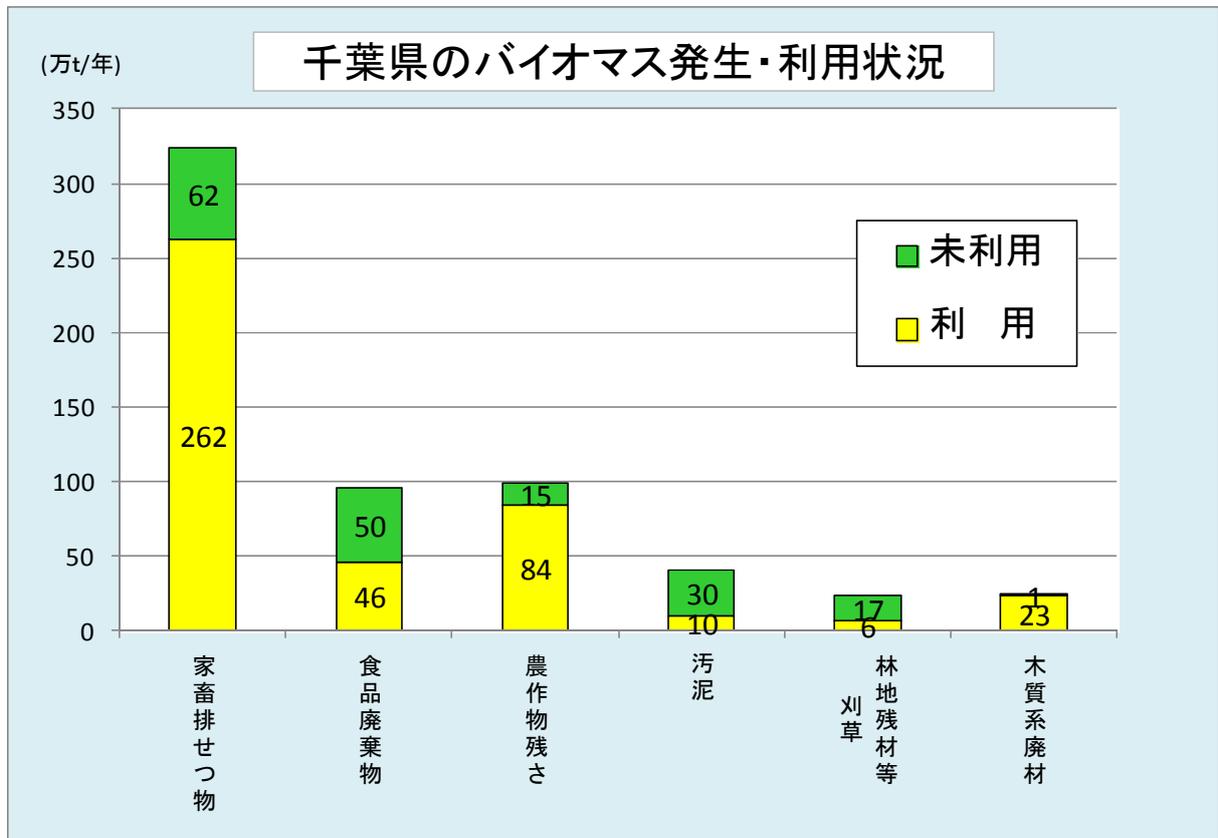


② 最終処分目的での県への搬入量、県からの搬出量(平成 25 年度)



## 【バイオマス】

千葉県のバイオマスの発生・利用状況(平成26年度調査)



	基準年度(平成22年度)			中間年度(平成26年度)			目標年度(平成32年度)		
	発生量 万t	利用量 万t	利用率 %	発生量 万t	利用量 万t	利用率 %	発生量 万t	利用量 万t	利用率 %
全バイオマス	644	483	75	605	431	71	668	536	80
廃棄物系バイオマス	532	392	74	502	346	69	556	437	79
未利用バイオマス	112	91	82	103	85	82	112	99	88